

ドライブレコーダー機能付き 11インチデジタルルームミラー

【PRD60C取扱説明書】



この度は【PORMIDO】のドライブレコーダー機能付き11インチデジタルルームミラー【PRD60C】をお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいませ、お読みになった後も大切にご保管してください。

 PORMIDO

-SINCE 2016-




目次

安全上のご注意.....	3
ご使用上のお願い.....	12
製品について.....	15
取付方法.....	18
リアカメラの設置.....	20
操作方法.....	23
本体各種設定.....	27
データ再生.....	39
よくあるご質問.....	42




安全上のご注意 (必ずお守りください)

あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をして時に生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容をしめしています。
 注意	人が損害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守り頂く内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意(しなければならない)の内容です。
	禁止(してはいけない)の内容です。
	実行(必ず行っていただく)の内容です。

免責事項について


お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合又はこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。


著作権について

- ・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。


スーパーキャパシタ内蔵電池について



	<p>本体(内蔵電池)の取扱に注意する 本体は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">・分解・改造しない・加熱したり、火の中に入れたりしない・ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない 内蔵電池が発熱、破裂、発火、液漏れをし、火災やけがの原因となります。
---	--

	<p>内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する 本体の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 内蔵電池を加熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてない• 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない• 内蔵電池のコネクタに絶縁テープをはる 発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やケガの原因となります。
---	---

 **警告**

	<p>内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する 本体の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない• 内蔵電池の液がもれて目に入ったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、 医師の治療を受ける けがや事故の原因となります。
---	--

取り付けや配線について



警告

	<p>本体はDC12V/24V\ominusアース車以外で使用しない 火災や故障の原因になります。DC12V/24V\ominusアース車以外で使用しないでください。</p> <p>エアバッグの動作をふさげる場所には、絶対に取り付けと配線をしない エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。</p> <p>取り付けやアース配線に車の保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) ボルトやナットを絶対に使用しない 交通事故やケガの原因となります。</p> <p>視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない 交通事故やケガの原因となります。</p> <p>本体は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない 視界不良や本体が外れて、事故の原因となります。</p>
	<p>取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する 取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。 誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。</p>

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順通りに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。



コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。



取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。







	<p>ねじなど小物部品やメモリカードは乳幼児の手の届かないところに置く 誤って飲み込む恐れがあります。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。</p> <p>本体に付属のシガープラグコードを使用する 付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。</p> <p>シガープラグは、確実に差し込む 確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。</p> <p> シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く コードが破損し火災、感電の原因となります。</p> <p>使用後または長時間使用しない時は、シガープラグを抜く 車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。</p> <p>シガープラグは定期的に清掃する ほこりが付着していると火災の原因となります。</p>
	<p>濡れた手でシガープラグを抜き差ししない 感電の原因となります。</p>



注意

	<p>水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない 水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。</p> <p>機器の通風口や放熱板をふさがない 機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。</p>
	<p>コードの扱いに注意する コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。</p>

使用方法について

	<p>分解・修理及び改造はしない 分解・修理、改造、コードの被覆を切ってほかの機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。</p>
	<p>音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない 車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。</p> <p>機器内部に、水や異物を入れない 金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。</p>
	<p>故障や異常な状態のまま使用しない 画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音、異臭がする場合は、直ちに使用を中止してシガープラグを抜いてください。事故や火災、感電の原因となります。</p> <p>運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない 必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。</p>
	<p>雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない 雷による感電の原因となります。</p>


注意

	<p>本体を車載用以外で使用しない 発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。</p> <p>本体を可燃性ガスの多い環境では使用しない 爆発や火災の原因となります。</p>
	<p>走行前に本体の取り付け状態を点検する 本体の脱落、落下などにより、けがや交通事故の原因となることがあります。</p>

使用上のご注意

- 本体を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本体を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故などの追隨的損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本体の仕様及び外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の取り付けによる車両の変色・変形。

液晶パネル部に関する注意

- 
- 走行中は、必ず同乗者が操作を行うか、車両を停車してから操作を行ってください。
 - 表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
 - 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
 - サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。予めご了承ください。
 - 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
 - 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。予めご了承ください。
 - 太陽などの高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

撮影された映像について

- 本体は広角レンズを使用しているため、映像の一部のゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。



低温環境での動作について

極端な低温環境では正常に電源ONしない場合があります。このような場合は、あらかじめUSBジャックのコードを抜くヒーターで車内が温まってからUSBジャックのコードを接続してご使用ください。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店のサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意



落下したら使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災 感電の原因となることがあります。

ご使用上のお願い

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。予めご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。またイタブラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ずmicroSDカードを抜いて保管してください。
- microSDカードを抜き挿しを行う際は、必ず車両キースイッチをOFFにし、本製品のLEDが完全に消灯したことを確認後、microSDカードを抜いてください。microSDカードへのデータ書き込み中および読み込み中にmicroSDカードの抜き挿しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDカードの故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDカード内に本機以外のデータを入れしないでください。動作が不安定になることがあります。
- 本製品を使用中のデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存することをお勧めします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示され録画できなくなる場合があります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。

- 本製品の動作中、本体表面が熱くなることがありますが異常ではありません。
- LED式信号機はLEDが高速で点滅しているため、信号機は点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているために、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- リヤガラスにスモークフィルムが貼られた車両(純正プライバシーガラス装着車除く)や夜間の明かりがない場所などでは、後方の道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一部断熱ガラス(金属コーティング・金属粉入りなど)、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS衛星からの電波が受信できない場合があります。
- WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、ビューワーソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。(ただしmicroSDカードや両面テープ、シリコンバンド等の消耗品は保証の対象となりません)
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店か、PORMIDOのカスタマーサービスにお問い合わせください。PORMIDOのカスタマーサービスのメールアドレス:service01@pormido.com
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

● 液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイは99.99%以上の有効な画素がありますが。一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約80℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約-10℃以下になると画像が遅れで表示されたり、表示された画像が消えるのに時間かかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。

● microSDカードについて

- 付属microSDカードは本機専用です。
- 本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約2-3年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。

※ 寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。

- microSDカードをフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- 本製品使用時は付属または別売オプションのmicroSDカードを使用してください。弊社製品以外のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

● 本製品のファイルシステムについて

- 本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステム(FATなど)に比べ、保存データの破損が少なく、万一記録データが破損しても復元する確率が高いファイルシステムです。
- 本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによるmicroSDカード断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSDカードを定期的にフォーマットせずご使用することができます。

本製品はmicroSDカードを定期的にフォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がよく長く使用することができます。

製品について

セット内容



ドライブレコーダー本体



反射防止フィルム



フロントカメラ



リアカメラ



中継TypeC
電源ケーブル



GPS受信機



シガーアダプター



清潔布



取付ゴム



リアカメラ延長ケ-ブル(10m)



説明書

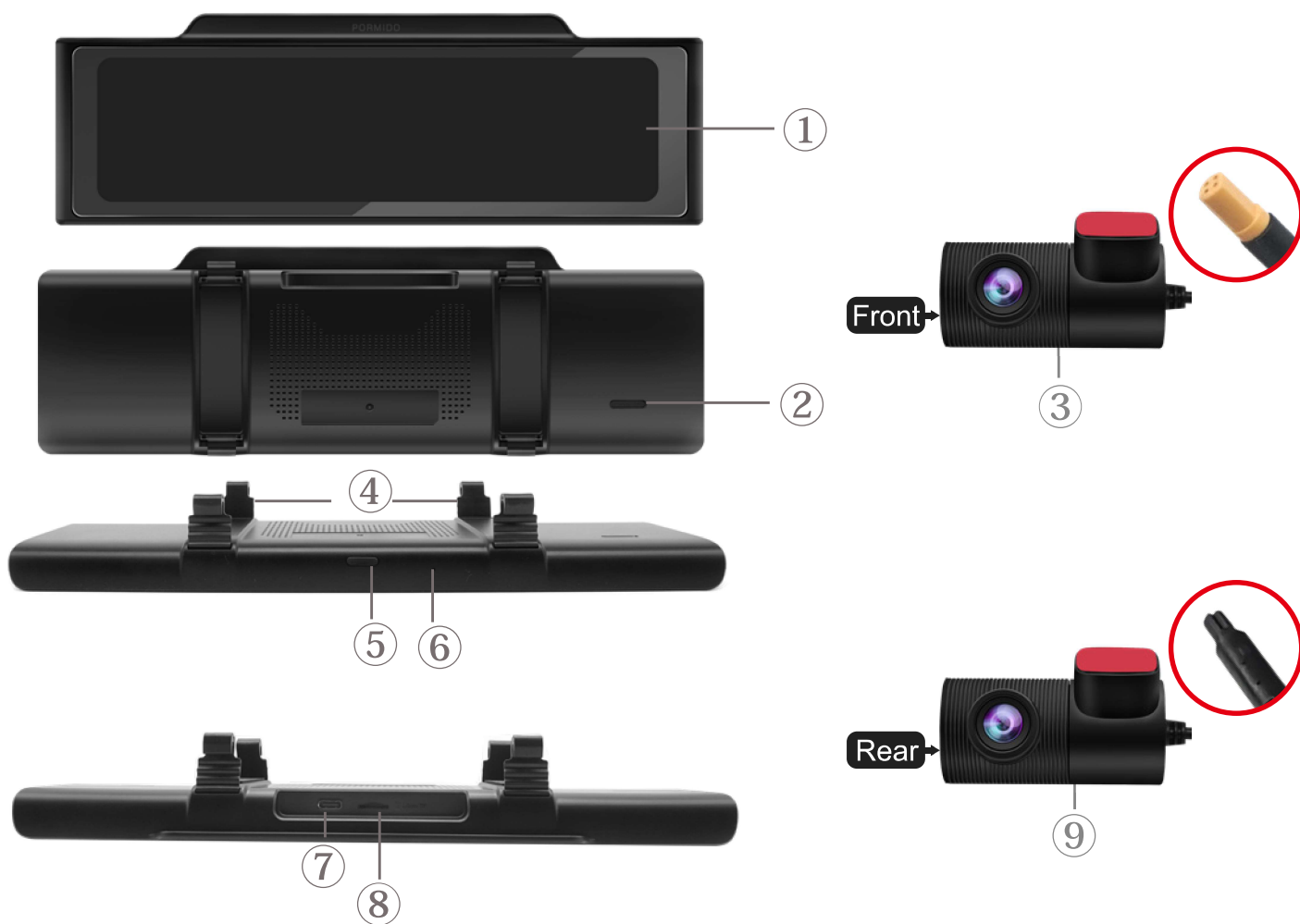


ケ-ブル取付
セット



シール式
ステッカー

各部の名称



- ① 液晶モニター
- ② スピーカ
- ③ フロントカメラ
- ④ 取付ゴム固定用具
- ⑤ スイッチボタン
- ⑥ MIC
- ⑦ 中継TypeC電源ケーブル
- ⑧ microSDカードスロット
- ⑨ リアカメラ

製品仕様書

モニター	11インチIPS液晶
フロントカメラのF値	F1.8
リアカメラのF値	F2.0
録画解像度	《フロントカメラ》FHD1920×1080、FHD1280×720
	《リアカメラ》FHD1920×1080、FHD1280×720
写真解像度	12M/10M/8M/5M/3M/2MHD/1.3M/VGA
動画ファイル形式	TS
写真ファイル形式	JPG
録画モード	ループ録画
メモリカード	microSDカード(最大128GB Class10必須) 32GB,class10,FAT32のTFカードがお勧め
録画音	ON/OFF選択可能
駐車監視	衝撃検知機能/タイムラプス機能 ※弊社の専用監視用電源ケーブルを別途にご用意ください。
Gセンサー	オフ/level 1/level 2/level 3/level 4/level 5
エンジン連動	サポート
GPS	サポート(位置記録、走行速度測定)
使用電圧	DC12V
使用電流	3A
消費電力	最大12W
リアカメラ防水仕様	IP68
動作温度範囲	-20°C ~+70°C
保存温度範囲	-40°C ~+80°C

取付方法

microSDカードの装着・取り外し

microSDカードは出荷時にすでに装着された状態でした。

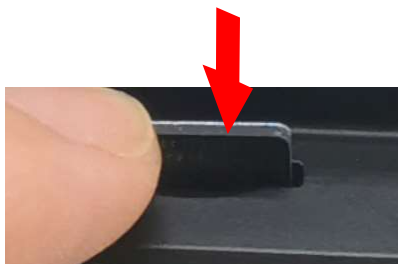


● 新しいmicroSDカードを使用する

セットのmicroSDカードなどの新しいmicroSDカードを使用する際は、起動時に表示されるメッセージに従い、microSDカードをフォーマットして下さい。

● microSDカードの取り出し方

microSDカードを取り出すときは車両キースイッチをOFF後、一度microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。



microSDカードを軽く押し込み



少し飛び出してきたら引き抜く

※挿入する時は逆の手順で行ってください。また必ず液晶側にmicroSDカードのロゴが見えるように挿入して下さい。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

⚠️ ご注意

- ※セットにはSDカードが付属されていません。別にカードをご用意ください。
- ※Class10以上microSDカードをご利用ください。
- ※本体の電源がONの状態、microSDカードを抜き差しを行わないでください。
- ※microSDカードの破損、録画データの破損の原因となります。
- ※必ず電源がOFFの状態、抜き差しを行ってください。
- ※microSDカード消耗品であり、書き込み可能回数等製品寿命があります。
- ※初めてmicroSDカードを本体に装着際は、必ず本体により、microSDカードをフォーマットしてください。フォーマットしない場合、毎回ONする時「メモリーカードをフォーマットしてください」の提示が出ています。
- ※本製品は128GBまでのmicroSDカードに対応しております。32GB/64GBをおすすめいたします。

本体を取り付ける

本体の取付付属の取付ゴムで純正ミラーに挟み込むだけ、ミラーを取り外すなど大掛かりな作業は必要ありません。



1、取付ゴムを上側の固定具に引っ掛けます。



2、純正ミラーを挟み込んで下側の固定具に引っ掛けます。

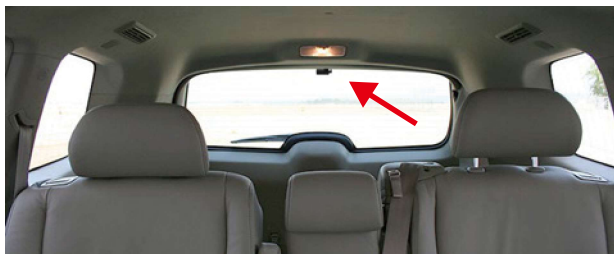


3、もう一方の固定具にも取付ゴムを設置した本体の位置を調整します。

リアカメラの設置

【車内に取り付ける】

リアガラスに設置します。カメラの固定スタンドに両面テープで固定します。



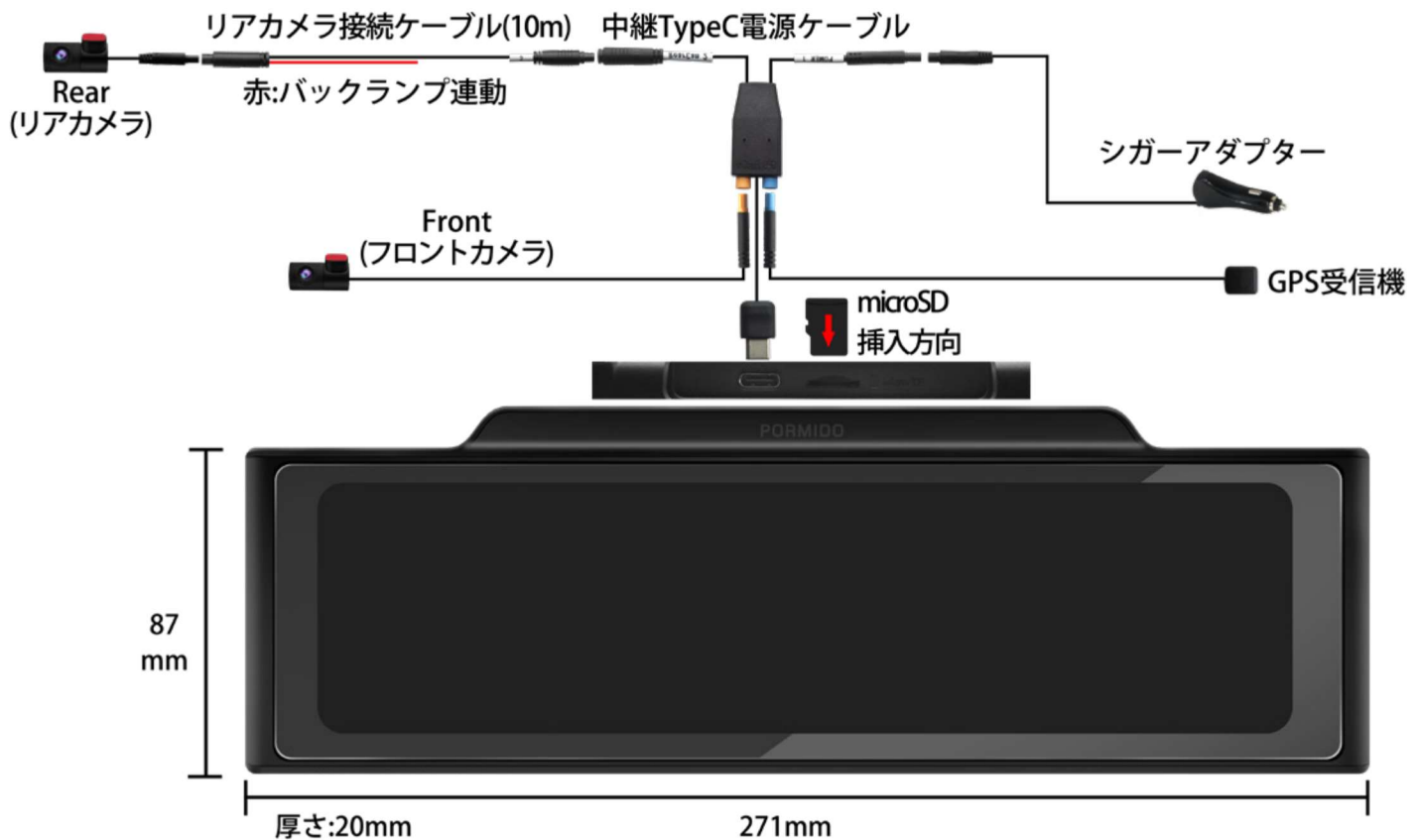
角度調整可能



⚠ 取付時のご注意

- 1、運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。ネジやシートレールなどの可動部にケーブルなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。
- 2、車体に穴を開ける時は、バンプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
- 3、両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
- 4、取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
- 5、貼り直しを行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。
- 6、先に接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。
- 7、取付後24時間以内はカメラに無理な力をつけないでください。
- 8、本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
- 9、リアカメラが防水仕様ではないですので、車外に取付しないようにご注意ください。

配線イメージ



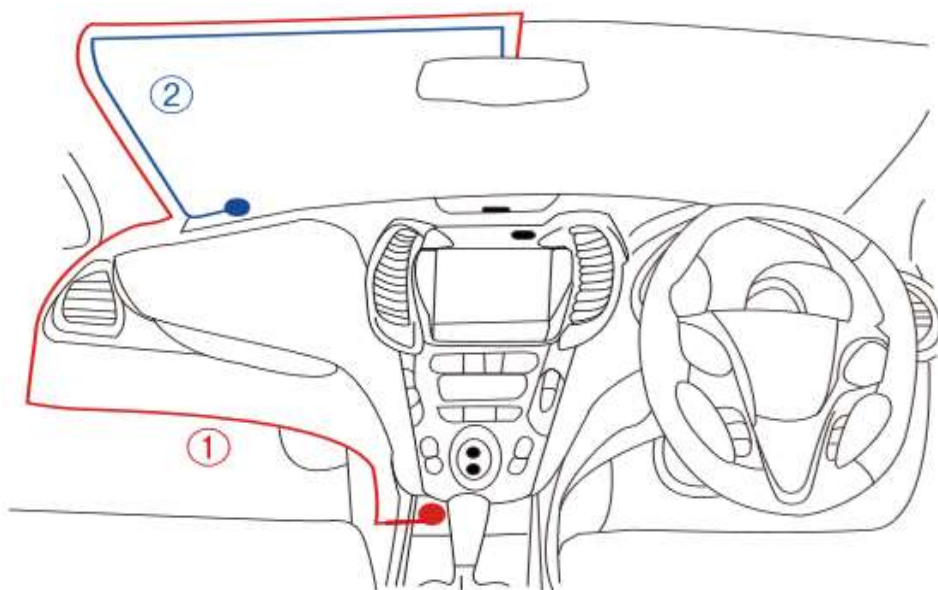
⚠️ ご注意

前後カメラの接続口に「front」、「rear」との表記があります。接続するとき、間違って接続しないでください。予めご注意ください。

⚠️ ご注意

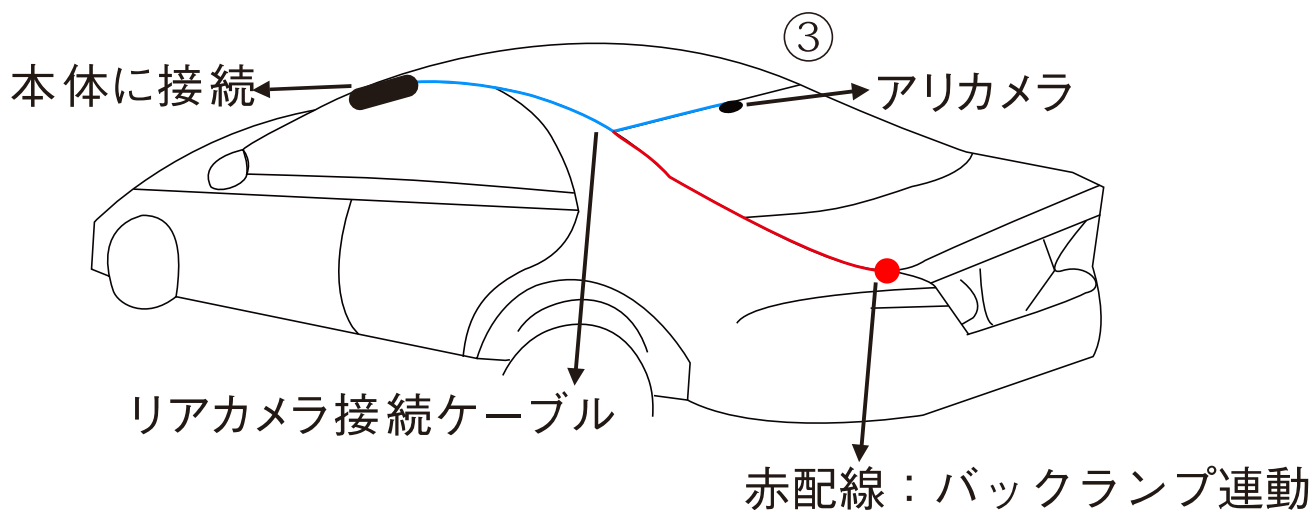
すべて端子の接合部分が正しく差し込まないと、機能が正常にならない可能性があります。接続するとき、よくご確認ください。

車に取り付ける配線イメージ



天井裏やピラー内部をあわせてケーブルを通します。

- ①シガーアダプターがシガーソケットに接続します。
- ②GPS受信機はダッシュボード上に設置します。



- ③本体に接続したリアカメラの接続ケーブルをピラー内部をあわせて車身に通し、リアカメラに接続します。

電源を接続する



付属のシガープラグコードを接続します。シガープラグコードのUSB端子側を本体のmicroUSB端子に接続します。シガープラグを車両のシガーソケットに接続します。

操作方法

電源のON/OFF

車のエンジンに連動して電源ON/OFFが切り替わります。電源ONすると同時にフロント/リアの2カメラで録画を開始します。また電源ボタンを長く押すとON/OFF切替もできます。

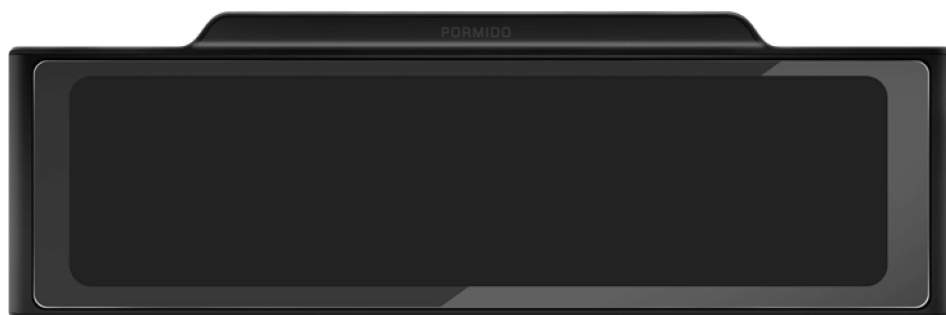


画面表示

電源/モード切替ボタンで二つの表示モードに切替できます。



カメラ画面モード



画面表示OFFモード

カメラ画面モードにする場合、「フロントカメラ・リアカメラ表示切替ボタン」により、フロントカメラ表示画面・リアカメラ表示画面・フロントカメラとリアカメラが同時に表示画面を切替できます。

録画モードの操作について

タッチパネル操作



- ①モニターの明るさを手動に調整する必要があります。録画を停止した場合、①の位置をタッチすると、画面をタッチして左右にスライドすると画面の明るさを調整できます。
- ②モニター画面をタッチして上下にスタンドするとカメラ表示アングル上下調整できます。バック連動する画面の角度がバック連動する状態にスライドして画面の角度を調整してください。次回にバック連動する時、記憶できます。「ドライブレコーダー画面角度とバック連動する画面角度が違います。ご注意ください。」
- ③フロントカメラ・リアカメラ表示切替ボタンにより、フロントカメラ表示画面・リアカメラ表示画面・フロントカメラとリアカメラが同時に表示画面を切替できます。
- ④の位置を長くタッチすると、日時を設定する可能です。

⚠️ ご注意:

※商品の初期には、起動する時、リアカメラ表示画面で起動します。

録画モードの表示について



- ① 録画中サイン ② 日付/時間 ③ 設定ボタン ④ 再生ボタン
⑤ 録画開始・停止ボタン ⑥ 静止画撮影ボタン
⑦ フロントカメラ・リアカメラ表示切替ボタン
⑧ ロックするボタン ⑨ 後カメラズームボタン
⑩ GPS ⑪ ループ録画 ⑫ 録音 ⑬ SDカード

※後カメラズームボタン: タッチ一発であらかじめ設定した拡大率のリアカメラ映像、元の広角リアカメラ映像を切り替えます。

本体各種設定

録画解像度

1080P >

録画解像度

- 録画解像度を「720P/1080P」から選択することができます。
- 初期設定:1080P

ループ録画

1分 >

ループ録画

- ループ録画を「1分/2分/3分」から選択することができます。
- 設定内容
 - 「1分」 1データごとの録画時間が1分に設定します。
 - 「2分」 1データごとの録画時間が2分に設定します。
 - 「3分」 1データごとの録画時間が3分に設定します。
- 初期設定:「1分」に設定されます。

録音

オン

録音

- 音声録音を「ON/OFF」から選択することができます。
- 初期設定:「ON」に設定されます。

操作音

オン

操作音

- 操作音を「ON/OFF」から選択することができます。
- 初期設定:「ON」に設定されます。

音声案内

- 音声案内を「ON/OFF」から選択することができます。
- 設定内容
「ON」に設定すれば、本体の電源オン/オフする場合、一部の設定ボタンを押す場合、カメラ接続されない場合となると、音声提示が流れる可能です。
- 初期設定:「ON」に設定されます。

音声一覧表

	動作	音声案内の内容
1.	エンジンを掛けて電源オンする の際	ドライブレコーダーを起動します。
2.	microSDカードが接続されない 時	microSDカードが確認できません。 microSDカードを挿入して下さい。
3.	録画ボタンを押すの際	録画を開始します。
4.	録画ボタンを押すの際	録画を停止します。
5.	緊急録画ボタンを押すの際	緊急録画を開始します。
6.	リアカメラが接続されない時	リアカメラを確認できません。
7.	フォーマットを行うの際	ファイルをすべて削除します。
8.	エンジンを切って電源オフする の際	電源をオフにします。

⚠️ ご注意:

音声案内機能をオフにしましたら、起動や電源オフする際に、起動してからの一部操作ボタを押す際に、案内音声流れません。

音量 >

音量

- 操作音を「ON/OFF」から選択することができます。

タイムラプス >

タイムラプス電源



タイムラプスの動作時間

12時間 >

タイムラプスフレームレート

2fps/秒 >

タイムラプス

- タイムラプス電源を「ON/OFF」から選択することができます。
- タイムラプスの動作時間を「12時間／24時間」から選択することができます。
- タイムラプスフレームレートを「1fps／秒・2fps／秒・3fps／秒」から選択することができます。
- 設定内容
駐車中12時間／24時間までコマ送り撮影を録画します。

電源オフするの際に、「タイムラプスモードに入ります。」との提示が出ります。

※駐車監視機能を使えるように、事前に弊社の専用監視用電源ケーブルを別途でご用意ください。

- 初期設定：
タイムラプス電源は「OFF」に設定されます。
タイムラプス時間は「12時間」に設定されます。
タイムラプスフレームレートは「2fps／秒」に設定されます。

駐車監視

オフ >

駐車監視

- 駐車監視を「OFF/level1/level2/level3/level4/level5」から選択することができます。
- 設定内容
level 1:低感度、level 5:高感度
駐車の際に本体が振動を検知されると、緊急録画(10秒)が作動できます。
振動が続いたら、緊急録画は10秒以上に作動する場合があります録画データはイベントファイルに保存されます。
※ 駐車監視機能を使えるように、事前に弊社の駐車監視専用電源ケーブルを別途でご用意ください。
- 初期設定:「オフ」に設定されます。

オートオフ

オン >

オートオフ

- オートオフを「OFF/1分/2分/3分」から選択することができます。
- 設定内容
1オートオフ機能を「1分」「2分」「3分」にして、タッチなど何も操作しないのまま、設定時間帯に電源は自動的にオフします。「オフ」に設定すればオートオフ機能が動作しません。
- 初期設定:「OFF」に設定されます。

Gセンサー感度

level 3 >

Gセンサー感度

- Gセンサー感度を「OFF/level 1/level 2/level 3/level 4/level 5」から選択することができます。
- 設定内容
level 1:低感度、level 5:高感度
※ 感度を高く設定すると、強めのブレーキ操作などの衝撃でGセンサーが感知する場合があります。
- 初期設定:「level 3」に設定されます。

日時設定



日時設定

- 日付/時間を自由に調整できます。
- GPSアンテナを接続している場合、自動的に日本標準時になります。
(※タイムゾーン設定:GMT+9:00必須)

日時表示

オン



日時表示

- 日時表示を「ON/OFF」から選択することができます。
- 設定内容
「ON」にすれば、ホーム画面の右上隅の日付と時間が表示しません。
(※設定メニュー→ホーム画面戻り→→タッチ無しで5秒以内→日付と時間の表記が消えます。)
- 初期設定:「ON」に設定されます。

12時制/24時制

12時>

12時制/24時制

- 時間の表示方式を「12時制/24時制」から選択することができます。
- 初期設定:「12時制」に設定されます。

言語

日本語>

言語

- メニュー言語を設定できます。
- 初期設定:「日本語」に設定されます。

周波数設定

50Hz >

周波数設定

- 周波数を「50Hz/60Hz」から選択することができます。
- 設定内容
東日本では50Hzに設定してください。
西日本では60Hzに設定してください。
- 初期設定:「50Hz」に設定されます。

スクリーンセーバー

オフ >

スクリーンセーバー

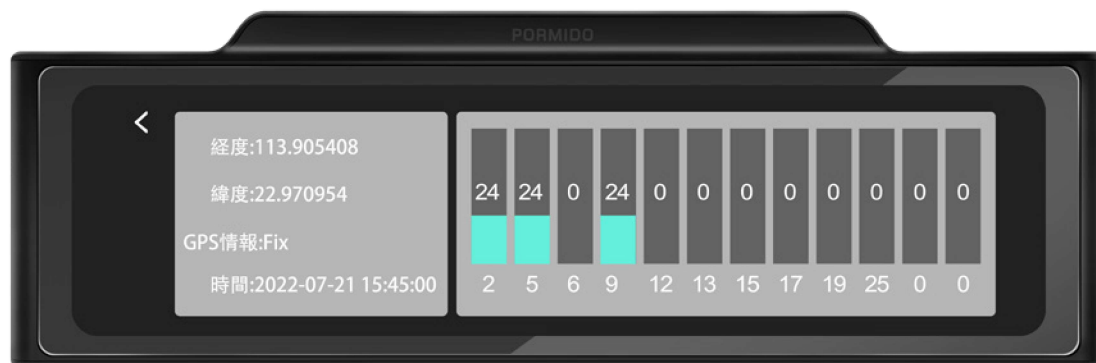
- スクリーンセーバーを「OFF/1分/2分/3分」から選択することができます。
- 設定内容
「1分/2分/3分」に設定すれば、この数値以内で何かのタッチしない場合、画面表示が自動的に表示しません。※画面表示がなくても、録画も続いて作動します。
- 初期設定:「OFF」に設定されます。

GPS情報

>

GPS情報

- GPSの情報を確認できます。



タイムゾーン設定

GMT+09:00 >

タイムゾーン設定

- スクリーンセーバーを「OFF/1分/2分/3分」から選択することができます。
- 初期設定:「+9:00」に設定されます。

GPS表示

オン

GPS表示

- GPS方位、速度の表記を「ON/OFF」から選択することができます。
- 初期設定:「ON」に設定されます。



スピードユニット

KM/H >

スピードユニット

- 車のスピードユニット表示を「mph/kmh」から選択することができます。

スピードリマインダー

オフ >

スピードリマインダー

- スピードリマインダーを「ON/OFF」から選択することができます。
- 設定内容
指定した速度を超えるとチャイムが鳴り、速度超過の警報を出すスピードリマインダー機能が利用できます。

オート録画

オン

オート録画

- オート録画を「ON/OFF」から選択することができます。
- 設定内容
「ON」にすれば、30秒以内に何かの操作をしないと、設定メニューから自動的に抜けて録画を開始します。
- 初期設定:「ON」に設定されます。

緊急上書き

オン

緊急上書き

- 緊急上書きを「ON/OFF」から選択することができます。
- 設定内容
「ON」にすれば、microSDカードの容量が不足となると、緊急上書きされたファイル(古いロックファイル)を削除します。
- 初期設定:「ON」に設定されます。

起動画面

リアカメラ >

起動画面

- 起動画面を「リアカメラ/フロントカメラ/フロント・リアカメラ」から選択することができます。
- 初期設定:「リアカメラ」に設定されます。

リアカメラ優先



リアカメラ優先

- リアカメラ画面を「ON/OFF」から選択することができます。
- 設定内容
「ON」にすれば、リアカメラ画面を強制的に表示できます。例えば、フロントカメラの表示画面にしても、本体に何か操作しないと、10秒ぐらいリアカメラ画面を強制的に表示されます。
- 初期設定:「OFF」に設定されます。

リアカメラ鏡像



リアカメラ鏡像

- リアカメラ鏡像を「ON/OFF」から選択することができます。
- 設定内容
「OFF」にすれば、リアカメラの正像です。
- 初期設定:「ON」に設定されます。

リアカメラ上下反転



リアカメラ上下反転

- リアカメラ映像の上下表示方向を「ON/OFF」から選択することができます。
- 初期設定:「OFF」に設定されます。

ガイドライン



ガイドライン

- バックガイドラインを「ON/OFF」から選択することができます。
- 初期設定:「ON」に設定されます。

バックガイドライン調整



バックガイドライン調整

- ガイドラインの位置を自由に調整することができます。



リアカメラズーム



リアカメラズーム

- リアカメラのズーム機能を「1～20段階」を任意に調整できます。
- 初期設定:「x 1」に設定されます。



ICON表示

オン

ICON表示

- ホーム画面に右下隅の表記表示を「ON/OFF」から選択することができます。
- 初期設定:「ON」に設定されます。

設定初期化

>

設定初期化

- 本体の設定を初期化します。

メモリカード

>

メモリカード

- microSDカードの容量情報を確認できます。



フォーマット

>

フォーマット

- microSDカードのすべてのファイルを削除できます。

バージョン

- バージョン番号が出荷時間によって変更される可能性があります。
- 該当製品に処理性能や操作性能の向上の他にも、新技術のサポートや、新たに発見された不具合(バグ)へ対応できるのため、PORMIDOはファームウェアソフトを提供する場合があります。

バージョンアップに関する注意事項

※アップデートの関連情報(ファームウェアソフトデータのダウンロード先・アップデート方法)は【PORMIDO公式ライン】に掲載予定いたします。

情報センター：[@503ibryf\(公式LINE\)](#)

※LINEを登録できない方は、PORMIDOサービスメールにご連絡いただければ、ファームウェアソフトの関連案内文を差し上げます。

サービスメール：service01@pormido.com

データ再生

本体で動画/画像の再生



常時録画、緊急録画、写真が保存されています。
録画/画像を選択して、右の再生ボタンを押して録画を再生できます。戻すボタンを押すと、カメラ画面に戻ります。

- 常時録画：常時録画がここに保存されています。
- 緊急録画：衝撃またはロックされた動画はここで保存されています。
- 画像：画像はここで保存されています。
- 前と後ファイルを切替する：録画されたファイルと画像の前と後ファイルがここに切替できます。

動画または画像を再生する時、画像の録画ボタンを押して、録画中止してください。

録画データ名称の解読

 FILE191014-084238F.TS

例：FILE191014-084238F

FILE:ファイル、191014:2019年10月14日、084238:08時42分38秒

F:フロントカメラ、R:リアカメラ

本体で動画/画像の再生



- 🔒 データをロックするボタン
- ▶ 動画を再生する・停止するボタン
- 🗑️ データを削除するボタン
- ◀ データを左にスライドする左ボタン
- ▶ データを右にスライドする右ボタン
- ↶ 戻りのボタン

パソコンで再生する

録画済みのmicroSDカードをパソコンに読み込むと、「Photo」「Normal」「Event」のファイルがあります。「Normal」が正常の録画のファイルです。「Photo」が画像ファイルです。「Event」が事件が発生する時、緊急にロックされてファイルです。録画ファイルでは、Fがフロントカメラの録画です。Rがリアカメラの録画です。



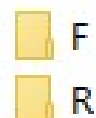
Photo



Normal



Event

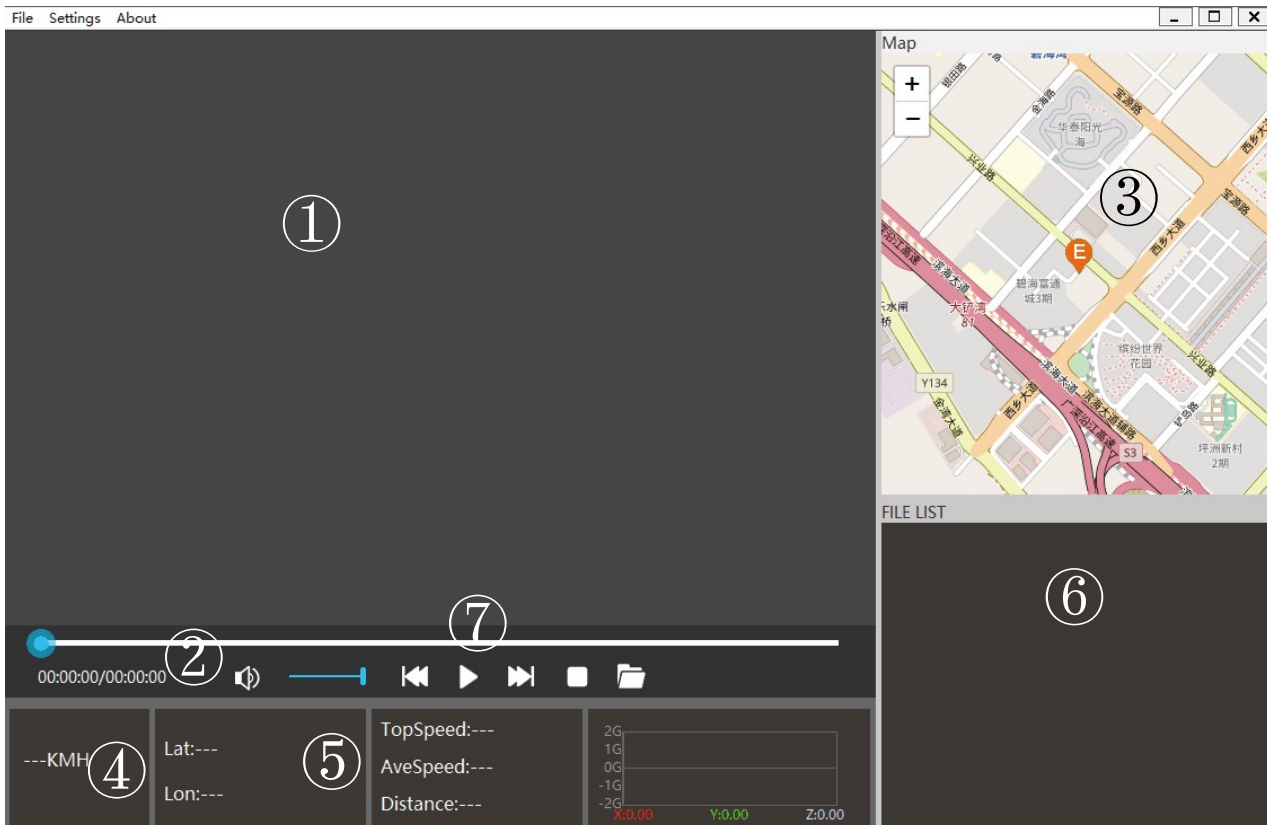


FILE191101-151602F	2019/11/1 15:16	TS 文件
FILE191101-151712F	2019/11/1 15:17	TS 文件
FILE191101-151725F	2019/11/1 15:17	TS 文件
FILE191101-151801F	2019/11/1 15:18	TS 文件
FILE191101-151840F	2019/11/1 15:18	TS 文件

※パソコンのOS等により表示が異なる場合もあります。

GPSデータ再生ソフト「CAR DVR PLAYER」について

ファイル再生ソフト「CAR DVR PLAYER」を使用することでGoogle Mapなど連動して録画再生できます。「いつ」「どこ」「どのぐらいの速度」など様々な走行データを確認することができます。初めて使い方はファイル再生ソフト「CAR DVR PLAYER」をインストールしてください。「CAR DVR PLAYER」の再生ソフトがよく更新しますので、amazonの本製品のページのリンクが最新ソフトです。amazonの本製品ページのリンクに入ってダウンロードしてください。



- ① 再生画面：再生画面が表示します。
- ② スクロールバー：スクロールバースクツリドラッグで巻戻し、早送りが可能です。
- ③ 地図表示：地図上で車の位置を表示します。
- ④ 速度：走行中の速度を表示します。
- ⑤ 方角情報：走行中の方角情報を表示します。
- ⑥ 再生リスト：再生リストにデータ一覧が表示されます。
- ⑦ 再生・停止ボタン：動画を再生・停止できます。

よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。以記内容をご確認ください。

電源が入らない	●シガーブラグコード内部のビューズが切れていないか確認してください。シガーソケットの指示灯が点灯しているかどうかご確認ください。
電源が入っている、オンできない	●シガーソケット電源がきちんと入っていることをご確認した場合、リセットしてみてください。また、車内の温度をご確認ください。温度が高すぎる場合、オンできない場合もあります。
録画できない、録画を開始するとすぐに停止する	●microSDカードが挿入されていることをご確認ください。microSDカードの容量をご確認ください。 ●通常は日時が古いデータから上書きされますが、保護ロックファイルは上書きされないため、保護ロックを解除してからファイルを解除してください。重要なファイルな削除を行う前に、バックアップを行ってください。
再生画面が入ってから、何も操作できない	●microSDカードが入れていない場合、あるいは、microSDカードには録画ファイルない場合、再生画面は入ってから、何も操作できない状況が出ます。この状況が出る場合、電源がオフしてください。そして、オンして回復します。
画面がフリーズする、何も操作できない	●リセットボタンを押して、システムを再起動してください。
リアカメラが映し出さない	●中継線のUSB-C接続端子を左側に差し込んでください。正しく接続しないと、リアカメラ信号が認識できない可能性があります。
GPS衛星を受信しない	●フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか。 ●本体周辺に電波を遮断する物はありませんか。

事故の衝撃映像が保存されていない	●事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。
microSDカードの容量がいっぱいになったらどうなりますか	●microSDカードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
microSDカードに録画データが保存されていない	●microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。約1年に交換することをお勧めします。また使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
本体が熱くなる	●本製品の動作中、本体表面が熱くなりますが異常ではありません。
起動しなくなったり、動作が不安定になる	●microSDカード内に本機以外のデータが保存されていませんか？ ●必要な映像をパソコンへ保存してから、本体でmicroSDカードの初期化を行ってください。
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
microSDカードがパソコンで認識されない	●お使いのSDカードリーダーはSDHC規格に対応していますか。付属のカードはmicroSDHCカードのため、SDHC規格に対応している必要があります。

